

- 和歌山教区子ども報恩講□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光□4
- 鷺森別院報恩講法要□6
- 教区台風被害続報□8
- 第3連区ビハーラ研修会□9
- 響流十方□10
- キッズサンガフォト□12



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2019年(平成31年)
1月1日
第119号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 電話(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

ダンスと脱出ゲーム楽しむ

和歌山教区 子ども報恩講に128人



りら創造芸術高校の生徒らの躍動感あふれるダンスに子どもたちは大喜び（鷺森別院本堂）

昨年12月8日、鷺森別院で第30回「子ども報恩講」和歌山教区子ども集いのキッズサンガが開かれ、教区内寺院門信徒のお子さんなど128人が参加した。報恩講は、小学6年生の子どもたちによる献灯献花で始まり、「らいはいのうた」を勤める元気な声の本堂に響いた。

昼食後は、りら創造芸術高等学校（紀美野町、山下範子校長）の女子生徒によるダンスを楽しんだ。ディズニーパーレードの曲と一緒に踊ったり、農村をイメージしたゆったりとした雰囲気の中で、お寺などを舞台にした謎解きイベント

「地獄からの脱出」に挑戦。芥川龍之介の『蜘蛛の糸』を下敷きに、子どもたちには地獄に落ちた悪人になってもらい、一人で助かろうとしたカンダタのせいでクモの糸という最後の望みも絶たれ、もうすぐ鬼たちが迫ってくるという設定。地獄から脱出するため、班ごとに別院内でヒントを探しながら謎解きに挑んだ。進行は、お寺などを舞台にした謎解きイベントをプロデュースしている若手僧侶グループ「Toy×ボイス」の佐藤慶樹さん。

大人でも難しいというゲームに挑戦した子どもたちのうち、25班中1班だけが正解を導き出し、最後に大きな拍手が送られた。



班ごとに協力して謎解きに挑戦

12面へ続く

阿弥陀さま

ハウツー仏事と私

⑳ 年末年始の仏事

年末年始、世間ではクリスマスや神社への初詣が注目されるが多目ですが、私たちは仏教徒・浄土正宗の門徒・僧侶としての自覚を持って過ごしたいものです。

「お正月のお仏壇のお飾り」(本紙第99号)でも述べましたが、新しい年を迎えるにあたり、お仏壇をきれいに掃除した上で、仏華には松・梅・センリョウ・葉牡丹をあしらうなどお正月らしくお飾りし、鏡餅をお供えします。

元旦は、家族そろって気



除夜の鐘つき (筆者の寺=海南市了賢寺)

初詣は所属のお寺や別院にお参りを

持ちも新たに阿弥陀さまにお参りしましょう。

所属のお寺で元旦会や除夜の鐘つきをしておられたら、ぜひご参加ください。

鷺森別院では、新年一日午前7時から元旦会。本堂で正信偈をお勤めし、引き続き一階の書院で、お酒やお茶などが振る舞われます。

こちらもぜひお参りを。



昨年正月の西本願寺御影堂内陣のお飾り。鏡餅は円柱形で、直径約40センチ・厚さ15センチの餅を5段重ねにして一対に。一枚で1斗ものもち米を使う。この大きさの鏡餅は今年も阿弥陀さま前にお供え

年の終わりにわが身振り返る

ご本山での年末年始の法要・行事についても述べておきます。

12月20日、京都の東西本願寺では、京都の師走の風物詩となっている「御煤払」(両堂の大掃除)が行われます。

西本願寺では12月31日、

「除夜会」を午後3時30分から御影堂でお勤め。これは「古い年を払い除く夜」の意味合いで大晦日に勤める法要で、浄土正宗では、

法話テレホン 鷺森
おにしさん
073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺)	TEL(073) 487-2430
ヤングこころの電話 (同上)	TEL(073) 487-0404
こころの電話 (御坊組専福寺)	TEL(0738) 44-0874

一年の生活を反省し、仏祖広人の恩徳を仰ぐ法要です。1月1日は、例年なら午

しているため、いずれも御影堂で、元旦会が午前6時から、修正会が10時から勤められます。

修正会は、諸宗派では、鎮護国家と聖体(天皇)安穩を祈願する法要として勤められますが、私たちの宗派では、ほかの法要と同じく仏恩報謝・仏徳讃嘆の意味合いで勤められています。

除夜の鐘は、私たちが抱える煩惱の数にちなみ、108回つくといわれます。しかし、私たちの煩惱は108どころか、宗祖親鸞聖人が「無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく、いかり、はらだち、そねみ、わたむころおほくひまなくして、臨終の一念にいたるまでとまらせず、さえず、たえず」(『一念多念証文』註釈版聖典693頁)と言われるように、限らないものです。

一年の終わりに、改めて煩惱だらけのわが身を振り返りたいものです。

(松本教習・「僧朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員長)

描点蹟祖

21 法垂窟

新

法然聖人(法然房源空聖人、1133~1212)が東山吉水の地に草庵(禅房)を開かれたのは、およそ1177年(治承元)、45歳ごろのことだった。

法然聖人は「吉水の草庵」を訪れる、年齢も性別もなりのわいもさまざまな人々に対し、どのように法を説かれたのであろうか。実際の対話を集めた『百四十五箇条問答』は、それを知る得難い記録である。問答から何条か取り上げて現代語訳してみる。問…心を改められず、何

清水湧く山中の岩室…この辺りに吉水の草庵があった？



善導大師と夢中対面の逸話を彷彿

すので、先になるか後になるかは人の力の及ぶところではありません。

問…酒を飲むことは罪でしょうか。

答…本当のことを言えば飲んでいいとはとても言えません。世間では当たり前のことになっていきます。

問…臨終に際し、善知識(仏道へと導く僧)に会うことができなくても、日ごろの念仏で往生できますか。

答…善知識に会えなくても、臨終のとき思うようにならなくても、念仏申すならば必ず往生します。

問…出産の忌み(産穢)は何日ですか。また死の忌み(死穢)は何日ですか。

答…仏教には忌みというものはありません。世間では産の忌みは七日とか三十日とか言うようです。死の忌みも五十日とか申すようですが、お考え次第です。

問…心は改められず、何念仏しておられるならば、その罪は消滅して、必ず往生されるはずですか。妄念よりも重い罪も、念仏さえすればなくなってしまう。問…父母より先に死ぬのは罪と申しますが、いかがでしょうか。答…それはこの世の常で

の悩みを柔らかく受け止め、時にお念仏の救いを明快に説かれる法然聖人の面影がしのばれるようである。

唯一年時の分かる問答が

「建仁元年十二月十四日」であることから、問答集はこのころ編まれたともいわれるが、建仁元年(1201)といえは、親鸞聖人が六角堂での夢告を経て、まさに吉水の法然聖人に帰依し「雑行を棄てて本願に帰す」(註釈版聖黄472頁)と宣言された年でもある。

前回訪れた安養寺に程近い「法垂窟」(青蓮院の飛地境内)へと足を伸ばす。ここもまた吉水の草庵跡といわれる場所の一つ。法然聖人が法を垂れた(ご説法された)場所であることからそう名付けられ、転じて「窟が窟」とも呼ばれた。

大鐘で有名な知恩院の鐘楼裏手から「ほーたるのいわや 一丁」(一丁は約109段)と刻まれた細い石標を目印に、山道に入る。着いてみると、森閑とした山中の岩室に清水の湧く

さまは、吉水の源流とも思える。窟の入り口上部の岩に彫られた「善導大師 圓光大師(法然聖人) 真葛ヶ原御対面之図」のレリーフが目を引く。真葛ヶ原とはこの辺り一帯の昔の地名。『法然上人行状絵図』巻七によれば、比叡山黒谷で専修念仏の真髓を感得されたからのこと、法然聖人は夢のなかで善導大師に対面されたという。法然聖人は高峰そびえる山の途中にあって、麓には大河。そこに現れた紫雲に乗った人物は、腰から下が金色に輝き、腰から上は僧の姿。誰かと尋ねる法然聖人に「我は是善導なり」と答え、「汝専修念仏をひろむること貴(き)がゆへに来れるなり」と言われたという。

レリーフから察するに、この窟は独特の景観から、善導大師との夢中対面の逸話を彷彿とさせる場所として大切にされたようである。【参考文献】細川行信『法然その生涯と教え』(法蔵館) (本紙編集部)

法然聖人、悩みに答へ法説く

西光万吉をしのぶ

同和問題にとりくむ和歌山県宗教団体連絡協議会(同宗連)では、昨年12月10日に紀の川市西井阪にある西光万吉邸(西光万吉資料館)にて現地研修会を実施、17人が参加。実践運動教区委員会からも研修の一環として委員らが参加した。資料館では飯田敬文代表

紀の川市で現地研修実施



不戦和栄の碑の前で集合写真 (西光万吉資料館)

青色青光

から、西光が1970年3月に74歳で亡くなるまで28年間過ごした和歌山での活動を聞いた。西光は1922年(大正11年)に全国水平社を結成し、被差別部落解放と人間の尊厳確立のため運動を展開。後に世界大戦に協力していったことを深く反省し、一国平和主義の無意味さを説き、人類平等の社会の実現をめざした。

役員意識を新たに

責任役員・門徒総代辞令伝達式

11月26日、鷺森別院報恩講中の門徒総代参拝奨励日に合わせ、責任役員辞令・門徒総代登録伝達式が開催された。

今回の伝達は4月から10月15日の間に願記申請し、就任した

43力寺201人の責任役員、門徒総代が対象。出席した19力寺の代表者に仲尾信博和歌山教区教務所長が辞令と記念品を伝達。続いて仲尾所長はあいさつで「社会が急速に変化するなか、親鸞聖人に遇えて良かった、浄土真宗で良かったと思えるお寺になれるよう、ご協力いただきたい」と締めくくった。

次期連研開催を目指して

有田南組で住職僧侶研修会

昨年10月24日、有田南組では称念寺(有田郡湯浅町)で、住職僧侶研修会が「連研開催のための準備」というテーマで開催され、組内僧侶が15人が参加した。

この研修会は、第8期(2015年3月終了)を最後に開催されていない門徒推進員養成連続研修会(連研)を、2019年度から開催しようと、改めて連研の開催意義を確認し、初めて使う『連研ノート』

『E』での進行方法を学ぼうと開催。出講した連研中央講師の石崎博敏さんは、『連研ノートE』作成の背景と願いについて触れながら、連研の目的や連研開催にあたっての僧侶

『連研ノートE』の活用方法学ぶ



組内僧侶が研さん深める(称念寺)

としてのスタンスなどを具体的に分かりやすく解説。第9期連研開催に向けて着実に準備が進められている。

僧侶・坊守物故者追悼法要勤める

和歌山教区では昨年11月27日、鷺森別院で僧侶・坊守物故者追悼法要を勤修。この日、午後1時30分から勤められた鷺森別院報恩講法要に出動した僧侶、奏楽員ら26人が、お勤めの後、すぐに1階書院に移動して追悼法要を勤修した。三奉請に続く表白で、仲尾信博和歌山教区教務所長は「参詣された故人ゆかりの人々とともに、故人の遺徳をしのび、そのお導きに感謝して、これからも法義相続の人生を歩ませていただきます」と法要の主旨を述べ、一同で仏説阿弥陀経をお勤め。朗々と響きわたる読経の中、遺族・門徒ら参拝者が焼香。その後、仲尾所長が法話、聖人一流章を拝読し、最後に願徳讃を唱和。この法要は、9月末までの1年間に逝去された和歌山教区内寺院僧侶・坊守をしのびつつ、毎年この日に勤められている。

青色青光

3組合同で僧侶研修会

災害対策と支援考える

昨年12月15日、鷺森別院で和歌山組・和歌山東組・海草組が3組合同僧侶研修会を開催。合わせて37人の僧侶らが参加した。

開会式では海草組組長が「組合同での研修会を開催することで、お互いがいい刺激となり有意義な研修会

に発展していくことでしよう」とあいさつ。

「災害支援と対策について」をテーマに、本山から森田順照社会部長を講師に迎え、近年、各地で起こった自然災害の被災地の状況について学んだ。

続いて森田講師は「いざというとき、私たちはどのような共助ができるか」と問い掛け、4班に分かれて討議。台風21号で大きな被害が出ていることもあり、活発な意見が飛び交った。森田講師は「災害は忘れたころにやってくる。日頃から、いざというときのために繰り返しシミュレーションすることが大事」と締めくくった。



僧侶ら37人が熱心に研修(鷺森ホール)

社会福祉への貢献を呼び掛ける

社推協が街頭募金とバザー

浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会和歌山教区支部(社推協)は昨年、歳末助け合い街頭募金とチャリティーバザーを行い、宗門内外へ社会福祉への貢献を呼び掛けた。

■歳末助け合い街頭募金

昨年12月3日の歳末助け合い街頭募金では、社推協の呼び掛けに応じた教区内僧侶・門徒34人が、JR和歌山駅中央口で募金を呼び掛けた。

この日集まった3万1024円は、社会福祉法人・読売光と愛の事業団に寄託



和歌山駅で募金呼びかける

され、被災地支援事業や障害者の福祉、子どもの福祉などさまざまな社会福祉事業に活用される。

■チャリティーバザー

昨年11月27日、鷺森別院

チャリティーバザー

報恩講4日目の正午、本堂で社推協が主催する恒例のチャリティーバザーが開かれた。本堂の一角には教区内の僧侶・門徒らが出品した洗剤や衣類、食器などの生活用品が所狭しと並べられた。この日参拝した仏教婦人会の会員らは熱心に品定め。バザー会場は活気を呈した。この日の売り上げは、6万5757円。「長

だちが見守るなかで、仲尾信博教務所長から表彰状と記念品が授与された。

■書道の部

▽本願寺鷺森別院賞 御前百加(和歌山組念誓寺)、伊藤優美(和歌山西組西教寺)

▽輪番賞 石田慈(有田南組極楽寺)、弘田勘(鷺森幼稚園)

▽少年連盟特別賞 森田光法(加茂組正光寺)、籠

寿のお祝い」をはじめ「被災地支援・災害ボランティア活動」などの社推協の活動資金として使われる。

御礼

先般、社推協当支部主催にて開催したチャリティーバザーに、ご寺院住職様はじめ各教化団体役員・会員様より多くの物品を提供頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

また、当支部の活動にご賛同いただき、当日ご協力いただきました皆様にご心から感謝申し上げます。

本派社推協和歌山教区支部

教区内から98点の応募

少年連盟主催 第21回子ども作品展

教区少年連盟は、第21回子ども作品展を昨年11月24日の鷺森別院報恩講から12月8日の子ども報恩講までの15日間、鷺森別院本堂で開催した。

この作品展に教区内児童から書道72点、絵画2点、塗り絵24点の合計98点の応募があった。

厳正な審査により入賞作品が選ばれ、結果下記の方が受賞した。表彰式は、12月8日の「子ども報恩講」中に行われ、たくさんの方

絵画・塗り絵の部

- ▽本願寺鷺森別院賞 市場小優理(和歌山西組建徳寺)
- ▽輪番賞 西川愛菜(御坊組常照寺)
- ▽少年連盟特別賞 田並彩花(加茂組西福寺)、板原顕真(有田南組円光寺)
- ▽少年連盟特別賞 森田光法(加茂組正光寺)、籠

※敬称略

お浄土とはどのような世界なのかと尋ねてまいりますと、「無苦の世界」であり「無業の世界」であると教えられます。

私たちの生きているこの世界は、自分の思い通りにならない世界です。それをなんとか自分の思い通りにしようとして、苦しみが生じてくる。そんな世界から解放されていく、無苦の世界がお浄土でありますよ、と聞かせていただきます。

そして、この私を感じる楽しさ、うれしさ、感動

鷺森別院で親鸞聖人の遺徳讃え報恩講

両講師が仏さまのお心伝える

報恩講法要は浄土真宗で一番大切にされている法座です。皆さんはこの「報恩講」という言葉の意味をご存じでしょうか。

まず報恩の「報」は、「報酬」という言葉の頭文字です。何かをしてもらったときに感謝をするという意味です。

例えば、寒い冬の日に家に帰り、家族が「寒かったでしょう」と言ってくれたとき、お茶を出してくれたとき、「ありがとう」と感謝の返事をすると思います。この



久林高伸師

浄土は私の経験を越えた世界

そんな自分自身の思いをはるかに超えた世界がお浄土でありますよ、という意味

かつて経験したことのない世界がお浄土であると受け止めてまいりますと、なかなかお浄土に生まれたいという思いが湧いてこないというの、当たり前のことかもしれないですね。

例えると、まだ食べたことのない物を食べたいなあと思う気持ちはなかなかかきこもれません。

このまま。何年前か前、東京の築地本願寺に布教のため4日ほど滞在しております



コーラスも入りにぎやかに勤められた音楽法要 (11月27日)

親鸞聖人のご命日を縁として、そのご遺徳を讃え、ご恩に感謝する恒例の「報恩講」が、11月24日から28日の5日間、鷺森別院で盛大に勤められた。

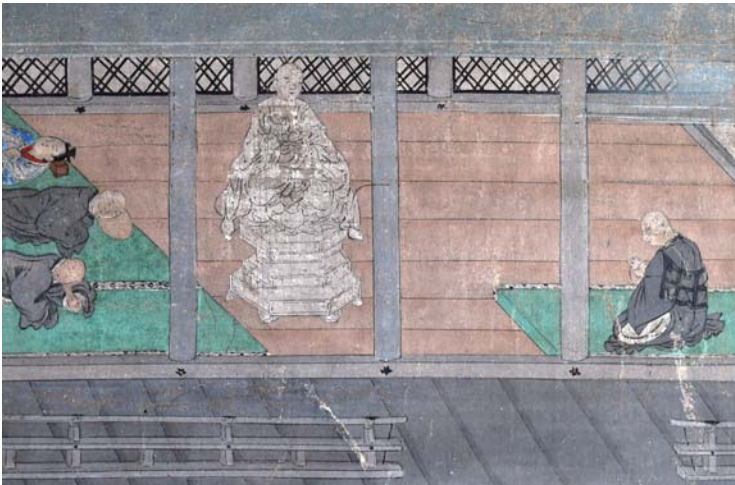
24日から26日は久林高伸師(大和高田市・常徳寺)、27日と28日は佐々木義英師(大津市・福田寺)が、親鸞聖人が明らかにしてくださった阿弥陀さまのお心を丁寧にお取り次ぎされた。

27日午後7時からの「夜の法座」では、正信念仏偈をお勤めし、講師の佐々木義英師から法話を頂いたあ

「六角夢想」の図 『御絵伝』絵解き



通夜布教で拡大映写した御絵伝を解説しながら法話する北條一穂師



鷺森別院所蔵の『御絵伝』に描かれた親鸞聖人「六角夢想」の場面(部分)。

建仁元年(1201)、親鸞聖人は比叡山を下りて、洛中とて救世観音菩薩から夢告(夢のお告げ)を頂こうと、95日目の六角堂に100日間の参籠を試みられた。95日目の午前4時ごろ、救世観音が白く僧衣姿で現れ、白い蓮台に威儀正しく座られて、「行者宿報極楽我成玉女身被犯 一生之間能涅槃 臨終引導生極楽(行者、宿報にてたとい女犯すとも、われ玉女の身となりて犯されん。一生のあいだよく莊嚴して、臨終に引導して極楽に生ぜしめん)と告げられたという。

と、和歌山教区布教団が主催する通夜布教。

三浦良成師(有田北組極楽寺)、北條一穂師(紀南組妙道寺)、佐々木紀彦師(有田北組教念寺)、島和夫師(和歌山組西覚寺)が、一人40分の持ち時間で法話。

2人目の北條師は、親鸞聖人の生涯を絵巻にした『本願寺聖人親鸞伝絵』の図解部分である『御絵伝』の絵解き。第一幅第四図に描かれた「六角夢想」の解説をしながら、親鸞聖人の六角堂参籠のエピソードについて詳しく話した。

そして、お互いのいのちの行方についても、先立っていかれた方を仏さまとお敬いさせていたくださるなかで受け止めさせていたいただけるのではないかと思います。

このたびは親鸞さまの御命日を縁として共に阿弥陀さまの前へと集い、そのおこころを聞かせていただく縁を頂きました。

意味ですから、報恩講法要とは、阿弥陀さまに感謝の気持ちで仲間と共に手を合わさせていただき、南無阿弥陀仏とお返事をさせていただく法要なのです。

そして、阿弥陀さまから恵み与えられる南無阿弥陀仏のお念仏には、親鸞さまは、三つの意が込められてあると仰せになります。

一つ目は、阿弥陀さまが私を思い、「私がいるよ、この私に任せてくれよ」という呼び声を届けてくださったこと。

二つ目は、阿弥陀さまが私たちにお念仏を称えさせたいというお心。

三つ目は、お念仏を称えるものを救わずにはいられないというはたらきが、お念仏を称えるものを包み込んでくださることです。

報恩は感謝の気持ちでお念仏

ように何かをしてもらったときに感謝の返事をするというのが、「報」という字の意味です。

次に報恩の「恩」は、「恩徳」という言葉の頭文字です。徳は阿弥陀さまの恵み与えられる、という意味になります。

ですので、報恩講の「報恩」という言葉は、阿弥陀さまから功徳を恵み与えられたことに対して感謝のお返事をする、という意味に

佐々木義英師



功徳のことを表しておりますので、「恩徳」というのは、阿弥陀さまから功徳を恵み与えられる、という意味になります。

ですので、報恩講の「報恩」という言葉は、阿弥陀さまから功徳を恵み与えられたことに対して感謝のお返事をする、という意味に

た阿弥陀さまの功徳とは、一体何のことを表しているのでしょうか。それは一言でいいますと、私たちの口から出てくださる南無阿弥陀仏のお念仏のことです。

このお念仏を頂いたことに感謝のお返事をしていく、つまり感謝の気持ちでお念仏を称えていくということが、報恩という言葉の大切な意味なのです。

そして、報恩講の「講」は、集まりや仲間といった

今までの経験で推し量ることのできない世界であるお浄土を、私たちは、先立っていかれた大切な方、身近な方を通して受け止めさせていただくという縁を頂いています。

大切な方との別れは、確かに厳しい縁です。しかし、先立っていかれた方はお浄土に生まれて仏さまに成っていかれた方、とお聞かせいただくことで、私たちは仏さまのおこころという新たな世界に出遇わせていただくのです。

そして、お互いのいのちの行方についても、先立っていかれた方を仏さまとお敬いさせていたくださるなかで受け止めさせていたいただけるのではないかと思います。

このたびは親鸞さまの御命日を縁として共に阿弥陀さまの前へと集い、そのおこころを聞かせていただく縁を頂きました。

和歌山教区

台風被害、復旧めど立たぬ寺院も

昨年多大な被害をもたらした台風20号(8月23日)と21号(9月4日)。和歌山教区では、まだ復旧のめどが立たない寺院もあり、自然の脅威をあらためて痛感させられる。教区災害対策委員会を取りまとめた11月30日現在の被災状況は、本堂大規模半壊1カ寺、本堂一部損壊62カ寺、庫裏一部損壊31カ寺、鐘楼・山門等附属建物の全壊2カ寺、附属建物一部損壊31カ寺。

前号に引き続き、被災状況を報告する。有田北組光源寺(有田市野)では鐘楼裏の屋根に直撃。和歌山教区では、10月12

日に災害対策委員会を開催。災害対策規則運営細則に準じて見舞金の給付裁定を行った。本堂が半壊した御坊組光明寺、鐘楼・山門等附属建物全壊した有田北組光源寺、和歌山組西教寺の3カ寺に災害見舞金を給付。



強風で飛んできた建物の屋根が庫裏を覆う(海草組真宗寺)



倒壊した鐘楼(有田北組光源寺)

引き続き災害義援金にご協力を

豪雨関連は振込先を各教区に変更

宗派のたすけあい運動募金(大阪府北部地震災害義援金)並びに「平成30年7月豪雨災害義援金」について、2018年10月31日をもって受付が終了されました。今後は、各教区の災害対策本部並びに委員会にて受け付けされます。本紙118号で紹介した振込先に

平成30年7月豪雨

【郵便振替】013310

18-25003、加入者名「安芸教区災害対策委員会」。※通信欄に「平成30年7月豪雨」と記入ください。

【問い合わせ】安芸教区現地緊急災害対策本部(広島市中区寺町1番19号 本願寺広島別院内) ☎082-231-9052。

備後教区

備後教区では、2018年7月13日から開始した、「平成30年7月豪雨」備後教区災害義援金の受付を、2018(平成30)年12月末日をもって終了します。義援金募集に際し、多くの方々から多大なご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます(備後教区)。

大阪府北部地震

【郵便振替】010000

14-69957、加入者名「たすけあい募金」。

【銀行振込】ゆうちょ銀行一〇九店、(当座)0069957、名義「たすけあい募金」。

※郵便振替、銀行振込とも、通信欄に「指定寄付金大阪北部地震」と記入ください。

北海道胆振東部地震

【郵便振替】027900

16-1103182、加入者名「北海道教区教務所」。

【問い合わせ】北海道教区教務所・災害対策委員会(札幌市中央区北3条西19丁目2-1) ☎011(611)9623。

第3連区 ビハーラ

ハンセン病差別の現実学ぶ

邑久光明園と長島愛生園で研修会

昨年12月13日、第3連区ビハーラ研修会(兵庫教区担当)が「自他ともに心豊かに生きる」同じあやまちを繰り返さないために、「養所である邑久光明園と長

島愛生園(いずれも岡山県瀬戸内市邑久町虫明)を会場に行われ、ビハーラ和歌山から津本京子会長(御坊組天性寺坊守)をはじめ5人の会員が参加しました。近畿6教区(滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・兵庫)からの参加メンバー50人が姫路駅に集合し、バス車中で愛生園についてのビデオを視聴しながら長島へ。本州と30以上離れていない瀬戸内海に浮かぶ「長島」で、多くの方が長年ご苦労されたことに思いを寄せつつ「人権回復の橋」といわれる邑久長島大橋を渡りました。



愛生園の施設について説明する鈴木幹雄さん(歴史館)

邑久光明園では、西本願寺会館・納骨堂・しのび塚など、入所者の方からの説明を受けながら見学させていただきました。全員で重傷傷をお勤めしました。少し前まで、園内で亡くなられても町の火葬場は使用させてもらえず、園内に火葬場を造り、入所者が火葬し、亡くなられたあとも多くの方が親族から遺骨の引き取りさ

え拒否されたとのことで、たくさん遺骨が納められているそうです。長島愛生園では、現在は歴史館になっている旧事務本館・収容棧橋・回春寮・監房・万霊山納骨堂・真宗会館などを見学させていただきました。真宗同朋会会長の鈴木幹雄さんのお話によりますと、現在愛生園には約150人が在園(一番多いときの10分の1)、平均年齢86歳、平均療養年数は60年とのことでした。静かな園内を歩いて移動もしましたが、お



光明園の納骨堂にお参り

見かけたのは数人の方だけでした。全国に13カ所あるハンセン病療養施設で多くの医師や看護師が治療に携わるなか、一人も感染者が出ていないという事実があるにも関わらず、なぜ強制隔離が続けられた

のでしょうか。鈴木さんは、深刻で暗い話になり過ぎないようにとおっしゃりながら話してくださいました。無知であること、また国の政策によるものとは言え、それに対して疑問を持たず他人事として生活してきた私たちにも、責任の一端はあるような気がし、「知らない」との無責任さ、罪深さを痛感しました。今回の研修では多くの学びがあり、本当に尊い縁だったと感じさせていただきました。(吉田敬子・ビハーラ和歌山副会長、和歌山組正善寺坊守)



愛生園の回春寮でお話を聞く

郷流十方

1~3月の催し

本山

- 1月1日 元旦会・修正会
- 1月13日 本山成人式
- 1月8日 大御身おんみみ
- 1月9~16日 御正忌報恩講法要
- 2月5日 任職補任研修
- 2月6日 任職補任式
- 2月7日 如月忌
- 3月18~24日 春季彼岸会

和歌山教区

- 1月17日 第4回寺院振興対策委員会(鷺森別院)
- 1月20日 門徒総代会別院剪定奉仕(鷺森別院)
- 1月24日 ビハークラ和歌山協議会(鷺森別院)
- 1月24~25日 本派矯正教化連盟大阪矯正管区支部連

絡協議会「一泊研修会」(神戸別院)

- 1月27~28日 仏教壮年会連盟結成40周年研修旅行
- 1月29日 近畿ブロック講社講員研修会(鷺森別院)
- 1月30日 教区賦課金調査検討委員会常任委員会(鷺森別院)
- 1月31日 第3回仏教婦人会連盟委員会(鷺森別院)
- 2月2日 連研履修者研修会(鷺森別院)
- 2月8日 勤式講習会(鷺森別院)
- 2月9日 仏教婦人会連盟若(女性の集い)(鷺森別院)
- 2月13~14日 第3連区青年布教使研修会(龍谷大学大宮学舎)
- 2月15日 仏教婦人会連盟清掃奉仕(鷺森別院)
- 2月16日 門徒総代会組活動推進事業(和歌山市松江東・正善寺)

教区内各組

- 2月16~17日 得度習礼講習会(鷺森別院)
- 2月21日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 2月22日 ビハークラ和歌山委員会(鷺森別院)
- 2月未定 寺族女性会委員会(鷺森別院)
- 3月2日 寺族青年連盟研修会(鷺森別院)
- 3月7日 近同推会員研修会(鷺森別院)
- 3月8日 勤式講習会(鷺森別院)
- 3月12日~13日 僧侶・寺族研修会(鷺森別院・日高別院)
- 3月28日 定期教区会(鷺森別院)
- 3月31日 孫市まつり(鷺森別院周辺)

和歌山組

- 1月18日 仏教婦人会連盟ダーナの会(鷺森別院)
- 1月26日 第7期門徒推進員養成連続研修会⑪(鷺森別院)
- 1月30日 寺族婦人会新年

- 2月16~17日 得度習礼講習会(鷺森別院)
- 2月21日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 2月22日 ビハークラ和歌山委員会(鷺森別院)
- 2月未定 寺族女性会委員会(鷺森別院)
- 3月2日 寺族青年連盟研修会(鷺森別院)
- 3月7日 近同推会員研修会(鷺森別院)
- 3月8日 勤式講習会(鷺森別院)
- 3月12日~13日 僧侶・寺族研修会(鷺森別院・日高別院)
- 3月28日 定期教区会(鷺森別院)
- 3月31日 孫市まつり(鷺森別院周辺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 2月7日 第4回門徒総代会・仏教壮年会連盟合同役員会(養専寺)
- 2月14日 仏教婦人会連盟ダーナの会(鷺森別院)
- 2月未定 寺族婦人会例会(極楽寺)
- 3月9日 第7期門徒推進員養成連続研修会⑫(鷺森別院)
- 3月14日 仏教婦人会連盟ダーナの会(鷺森別院)
- 3月未定 寺族婦人会例会(未定)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

- 3月未定 門徒総代会・仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺津村別院)
- 和歌山東組
- 2月未定 組内会(未定)
- 1月6日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑪(正善寺)
- 1月24日 組寺族婦人会新年例会(マリーナシティ)
- 2月3日 組内会(覚円寺)
- 2月21日 組仏教婦人会役員会(万福寺)
- 3月3日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑫・修了式(覚円寺)

- 3月中旬 組仏教壮年会研修会(浄福寺)
- 和歌山北組
- 1月17日 仏教婦人会新年会(萬波)
- 1月19日 第3回組内会(慶圓寺)
- 2月未定 実践運動推進協議会(未定)
- 3月初旬 寺族女性会(慶圓寺)

- (宝林寺)
- 3月中旬 若婦人会京都聞法旅行(京都)
- 3月下旬 組内会(称念寺)
- 3月未定 組総代役員会(福蔵寺)

実践運動和歌山教区委員会 僧侶・寺族研修会

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)和歌山教区委員会(実践運動)和歌山教区委員会は、2019(平成31)年3月12日(火)に鷺森別院(和歌山市鷺森)で、同月13日(水)に日高別院(御坊市御坊)で僧侶・寺族研修会を開催する。

専ら門主で親教「念仏者の生き方」に学ぶと題して、その中に引用された「少欲知足」「和顔愛語」など仏説無量寿経の御文について学びを深めようと、講師には



満井秀城さん

満井秀城さん(浄土真宗本願寺派総合研究所副所長)をお招きする。今年、一人でも多くの僧侶・寺族が参加できるようにと、同じ内容を日と場所を変え2カ所で行う。

同和問題にとりくむ和歌山県 宗教教団連絡協議会

結成20周年記念大会

1997(平成9)年6月6日、和歌山県内19の宗教教団・団体の賛同のもと鷺森別院において同和問題にとりくむ和歌山県宗教教団連絡協議会「結成記念大会」が開催されました。

和歌山県同宗連では、先人の方々が思いを一つにして取り組まれた20年の歩みを、あらためて皆さまと確かめ、また新たな一歩を踏み出していくきっかけにしようと記念大会を開催いたします。ぜひご参加ください。詳細は後日、各寺院宛に送付いたします。

- ◆日時 2019年2月6日(水)
〈大会〉13:30~16:30(受付13:00~)
〈祝賀会〉17:00~18:30
- ◆会場 本願寺鷺森別院 本堂
〈祝賀会〉アパローム紀の国
- ◆講師 旭堂南陵師(上方講談)

同和問題にとりくむ和歌山県宗教教団連絡協議会
事務局 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内
☎(073)422-4677

鷺森別院の催し

■元旦会

1月1日、午前7時から元旦会をお勤め。本堂で正信偈をお勤めし、その後、書院で仲尾信博輪番が年頭のあいさつ。その後、お供えしたお酒を参拝者に振舞うご流盃の儀が行われる。

■常例法座

1月15、16日 鷺地清登師(東大阪市・本照寺)。

2月15日 宮部誓雅師(撰津市・誓覚寺)、16日 山本行圓師(紀の川市・蓮葉寺)。3月15日 野田茜師(撰津市・専稱寺)、16日 佐々木紀彦師(有田川町・)

教師

11月

富浦直宏(有田北組西光寺)
長田義久(和歌山西組西勝寺)
島本泰裕(和歌山西組寛圓寺)

敬吊

吉村寛子(海南組慶證寺前坊守) 10月17日
田伏英寶(御坊組長栄寺前住職) 10月24日
近藤和(有田南組興善寺前坊守) 11月26日
木下恒子(御坊組善妙寺前坊守) 12月1日

ご生前のご功績を偲びつつ、ご尽力に感謝申し上げます。謹んで敬吊の意を表します。

日高別院の催し

■元旦会

1月1日、午前0時30分ごろから新年最初のお勤めである元旦会を本堂で。正信偈をお勤め後、仲尾信博輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会・御坊市日

高郡戦傷病没者追悼法要
3月22日、午後1時30分

教念寺)。毎座、午後1時30分からお勤め、その後3時30分まで法話を聴聞する。

■春季彼岸会

3月21日、春季彼岸会をお勤めする。法要は午前10時から正午までと、午後1時30分から午後3時までの1日2座。いずれも仏説阿弥陀経をお勤めし、引き続き法話を聴聞する。

■第15回孫市まつり

3月31日(日)、鷺森別院と周辺を会場に、孫市の会が主催する恒例の「孫市まつり」が開催される。

(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話 073-422-4677)

ラジオ放送番組 みほとけとともに

- 西本願寺の時間 -

◆ 毎週土曜日	午前5時50分	から
- 和歌山放送 (WBS) -		
和歌山・串本	1431kHz	
田辺・すさみ	1233kHz	
橋本・高野山	1485kHz	
新宮・御坊	1557kHz	

から春季彼岸会が勤修される。本堂で仏説阿弥陀経を

■常例法座

1月20日、午後1時30分から。お勤めに引き続き地清登師(東大阪市・本照寺)の法話。

(本願寺日高別院 御坊市御坊100 電話0738-122-0518)



元気に「らいはいのうた」をお勤め (和歌山教区子ども報恩講)

子ども・若者ご縁づくり フォト・ニュース Photo News



①面から続く
 教区子ども報恩講のため、各教化団体の会員や参加されたお子さんの保護者など、83人がスタッフとして協力集いを盛り上げた。
 お昼は、寺族婦人会の皆さんが用意されたカレーライスが振る舞われた。味も好評で、子どもたちは口々に「おいしかった」と笑顔で話していた。

海草組

11/17

25人

教了寺

報恩講のお飾りをバックに

海草組は昨年11月17日、教了寺(紀の川市桃山町)で、子ども報恩講をお勤め。会場となった同寺では、報恩講の前日に子ども報恩講をお勤めし、お餅つきを行うのが恒例となっている。今年は25人の子どもたちが参加し、お寺が子どもたちの笑顔であふれた。



海草組では近年、組の行事として企画開催してきたキッズサンガを休止して、寺院における青少年教化活動を組としてバックアップすることに特に力を入れて

おり、同組ではこの他に、西方寺、報徳寺、積善寺でキッズサンガなどが開催されている。



恒例となった報恩講前日のお餅つき

有田北組 11/11 6人 西光寺

有田北組は昨年11月11日、西光寺でキッズサンガを開催し子ども6人が参加。朝10時に開会し、お寺でのマナーや焼香の作法を学んだ後、「いざというときに!どうする?」と題した、クイズを交えた防災のお話を聞いた。昼食のお弁当を食べ、ビンゴゲームで盛り上がった後は、恒例の「ポップ



有田川町の「ポップみち」鉄道公園で



西光寺本堂前で記念撮影

みちウォーク」。有田鉄道線路跡に造られた「ポップみち」をみんなで歩いた。